

先端研究拠点事業—国際戦略型—
「ソフトマターと情報に関する非平衡ダイナミクス」
セミナー・シンポジウム 派遣報告書

2014 年 6 月 4 日

氏名(ふりがな)	許 インイン (きょ いんいん)
所属機関・部局・専攻内の所属分野	東京工業大学総合理工研究科知能システム科学専攻
身分・学年 (学生の場合は指導教員名)	博士課程二年 (樺島祥介)
メールアドレス	yingxu@dis.sp.titech.ac.jp
電話番号、FAX	080-9185-4469

セミナー・シンポジウム名	Statistical physics, Optimization, Inference and Message-Pa algorithms, Les Houches Autumn School
場所 (国名・都市)	フランス・レジュース
派遣期間	2013/9/29~10/11
セミナー等の日程	2013/9/30~10/11
URL	http://leshouches2013.krzakala.org/

今回のセミナーは世界中のトップリサーチャーの講義を集中して聞くことができ、なかなかないチャンスでした。世界各国から集まってきた研究者たちと交流することの練習ができました。みなさん英語を話していますが、イタリア英語、フランス英語、インド英語とアメリカ英語など、さまざまなアクセントのある英語を聞き取るのはなかなか難しいことだと気づきました。しかも、とても重要であることだと強く認識しました。

毎日朝9時から夜七時までずっと講義を聴きます。集中力、メモ取る能力などはとても鍛えられました。食事毎も毎食全員そろって一緒に食べますので、人間関係の作る方、疲れているときにもマイナス気分を他人に出さないことはとても重要だと思いました。研究というのはただ一人で黙々と考えることだけではなく、多様な人間とうまくコミュニケーションをとることは、トップレベルの研究者になるのは重要不可欠だとわかりました。品質のいい人間であれば、品質のいい会話ができて、品質のいいアイデアが意見交換の中から生まれます。

講義の内容は他分野に又いて、情報科学、ネットワーク科学、物理学などの知識を吸収し、お互いに助け合う研究を作っていく様子をよく認識できました。これからの時代は、一つの分野に詳しいだけでは足りなく、視野広く、好奇心強く、多様な知識を吸収しないと時代についていけないとわかりました。これからの勉強はそのような点に注意しながら頑張ります。参加してとてもよかったです。